

# 特集 文楽

一宮市【島文楽保存会】

## 伝統を守り



県内の地域では、長い歴史の中で培われてきた民俗芸能を継続するために、さまざまな活動が行われています。今回の特集は、一宮市島村に伝わる「島文楽」に取り組む「島文楽保存会」の活動を取り上げます。

### 文楽とは

文楽は、300年以上の歴史をもつ伝統芸能で、人形浄瑠璃芝居とも言います。浄瑠璃を語る「太夫」、「三味線」、そして人形を操る「人形遣い」で演じます。

### 島文楽

「島村地方」に伝わる人形芝居で、昔から人々に親しまれてきました。神社の祭礼とは関係なく、有志によって始められ伝えられてきました。昭和36年に一宮市の無形民俗文化財に指定されています。

### 島文楽保存庫にて

保存庫の中には、所狭しと、人形が納められています。その数はおよそ60体。1体1体表情が異なり、そのほとんどが100年以上前に制作されたものです。

豊かな表情やあでやかな衣装からは、古さが感じられません。深い眠りから目を覚まし、今にも動き出しそうな雰囲気をかもし出しています。



### 島文楽の歴史

島文楽の歴史を会長の岩田義允さんに伺いました。「慶應3年(1867年)に、一宮市大毛の村人が、岐阜の村から金7両で人形を買い受けたそう。明治になって人形を譲り受けた島村の村人は、大阪文楽で学んだ人を招き、その指導を受け、技術を身につけていったんだわ」。

島村に1世紀以上も前から伝わる文楽。今も「島文楽保存会」の皆さんによって守られているのです。

現在、保存会のメンバーは17人で女性は5人。「一時は、会員が5、6人までだった時もあるよ。昔から続いている伝統ある芸能を、なくすわけにはいかんじゃろと思ってやっているわけだわなあ」と、副会長の小島勇さんが語られました。

### 人形が主役、人はわき役

小学生のときに初めて人形を操ってから70年という小島さん。小島さんがそっと人形を抱え、アガキ(人形の表情を出すところ)に指をかけると、人形はその顔をゆっくりと動かし深い眠りから覚めます。「動かす時は、その人物になりきることが大切なんじゃ。すると人物が語りかけるように動いてくれるだよ」。小島さんが人形と言わずに人物と言われる言葉に、人形を愛しく思う気持ちが表れています。小学生の頃に人形を初めて触った感動が今も五感に残っているからでしょう。舞台上で主役となって舞うのは人形。しかし、その人形に命を吹き込むのは陰で支える保存会の方々。「われらは舞台上で黒子になって、陰で支えておるだけだわ」と言われる小島さんに、島文楽を守るための苦勞を伺いました。





# 未来へつなぐ

2010年8月には、上海万博日本館で公演を行いました。日本の伝統芸能を守り、後継者を育てる努力を積み重ねています。「島文楽」を誇りに思い、先人の意思を受け継ぎ、未来へ継承していきます。

## 後継者を育てたい

「そりゃ、何が大変といっても、ご覧のとおり60過ぎの年寄りが多くてよ。若い人が少なく、なかなか後継者が育たんのだわ」。年に数回、小・中学校、博物館などで公演し、人々に島文楽の素晴らしさを知ってもらおうと努力されています。

地元の小学校で文楽教室を開いた時『今日、人形を触った者は島文楽へ入れ！』と言ったら、数人練習に来てくれて上手になったんだが、大きくなると離れていってしまおた。一人は今でも残ってやっとなだけど」と、岩田さんが寂しそうに言われました。この子たちが、また、いつか島文楽に戻って来ることを期待していますが、島文楽を守るために今は島村という地域の枠を超えて、参加メンバーを受け入れることにしたそうです。



「伊達娘恋緋鹿子（だてむすめこいのひがのこ）火の見やぐらの段」の場面

## 未来に繋ぐために練習に励む

保存会の皆さんは、日曜の夜に公民館に集まり練習に励まれています。語りや三味線ができる人がいないので、CDを流しての練習です。1体の人形を3人1組になって操ります。「足遣い10年、左手遣い10年、主（おも）遣い10年と言って確かに難しい。足の動かし方でも、若者、老人、女と全く違って来る。しかも出し物によっても違って来るよ。3人の息がぴったり合わないとダメなんだわ」「みんな文楽が好きだよ、道楽かもしれない。文楽に頂点はなく、いつまでも練習するだけだわ」と小島さん。

毎年春に、一宮市博物館にて定期公演が行われています。島文楽を誇りに思い、未来へつなぐために、定期公演に向け、日曜の夜に島村公民館では保存会の皆さんの熱のこもった練習が続けられています。

愛知県の民俗芸能に興味をもたれた方は、ぜひ次の会がありますので鑑賞されてはいかがでしょうか。

## 愛 知 県 民 俗 芸 能 大 会

期 日	平成24年2月26日（日） 午後1時開演		
問い合わせ先	愛知県教育委員会文化財保護室		電話（052）954-6783
場 所	豊橋市公会堂大ホール（入場料 無料 但し整理券が必要）		
市町村	指定	名 称	保存団体の名称
尾張旭市	市	ざい踊り	尾張旭市ざい踊保存会
尾張旭市	県	尾張旭市の棒の手	尾張旭市棒の手保存会
知立市	国	知立の山車文楽	知立山車文楽保存会
豊橋市	国	豊橋神明社の鬼祭	豊橋鬼祭保存会